

労働運動委員会ニュース

No. 268 2020年7月13日

発行責任者 宮川 敏一
 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階
 TEL (03) 6380-9960 FAX (03) 46380-9963
 E-mail miyakawa@sinsyakai.or.jp

Zoomセキュリティ対策も伝授

Zoom

オンライン会議労働者講座

第1回 8月18日
 第2回 8月25日

講師：松原 明さんレイバーネット共同代表
 参加費：1,000円
 対象：労働者
 定員：40名
 主催：NPO法人労働相談室
 協賛：レイバーネット日本
 ユニオンネット平和センター

問い合わせ
 宮川敏一 090-2241-1303



撮影リムピース



木更津に危険なオスプレイが飛んできた

ついに木更津に危険なオスプレイが飛んできた。

防衛省は7月6日に予定していた陸上自衛隊の輸送機オスプレイの木更津駐屯地への暫定配備が、

作業を担う米側の天候不良の判断で、米軍岩国基地からの飛行が2度中止になっていた、

招かざる最初のオスプレイ1機が10日の午後、木更津に飛

オスプレイは同駐屯地に到着後、陸自へ引き渡され、暫定配備が始まる。2機目以降は（全機で17機）は、順次配備を進める。

オスプレイは世界一危険な軍用機、これまで墜落事故などを繰り返してきた。木更津駐屯地では、米軍海兵隊のオスプレイも定期点検を受け入れる。

危険な空域は、木更津だけでなく、首都圏上空にも及び、「世界一危険で欠陥機オスプレイ」が飛ぶことになる。オスプレイは1機110億円、周辺整備費等も加えると倍の220億円に膨ら

み、総額は3600億円（17機）にもなる。国民の知らないうちに、トランプと安倍の密約で、税金が湯水のごとくアメリカに提供されている。

木更津駐屯地の対岸にある内港北公園の13時過ぎ、「地元住民の会」から案内があった。「昨日、防衛省に出向き、24万筆の署名を届け

た。危険なオスプレイはいらないなどを申し入れたが、曖昧な返事を繰り返すだけ」と報告がされた。15時45分からは集会を開き、平和フォーラム、新社会党、共産党、社民党から、

「オスプレイ来るな」のアピールが続いた。16時10分、駐屯地から北北東方面よりオスプレイが姿を現した。並みのヘリコプターとは違う。

オスプレイの木更津暫定配備の撤回署名24万筆を防衛省に渡す

7月9日「オスプレイ来るな・いらぬ住民の会」の吉田会長ら13名で防衛省を訪れ、「暫定配備撤回」の要望書を提出した。

当日は、青木愛衆議院議員をはじめ、木更津市議会議員3名、新社会党・石井俊雄（千葉県本部長）も出席した。

「帰れ、来るな」「オスプレイはいらない」の声が響く。轟音はヘリコプターの比ではなかった。

みるみる大きくなり、木更津駐屯地に機体を消した。

オスプレイの木更津暫定配備の撤回署名24万筆を防衛省に渡す

反対署名は、全国から寄せられた24万筆で、一括にして渡した。

要望書は、事前に提出したもので、防衛省の事務官が口頭で回答した。同日、17時から、千葉県庁の記者クラブで、同趣旨の内容で記者会見をした。千葉日報、毎日新聞、東京新聞などは、翌日の朝刊に会見内容を掲載した。

住民の会は、「全国24万筆の反対署名を重く受け止め、オスプレイの『木更津暫定配備』を撤回すべき」と声明を明らかにして、今後も運動を続ける決意を語った。

（この文は、上記の要約に基づき、内容を整理し、重複を削除し、読みやすくしています。）

京葉ユニオン講演会 指宿弁護士が 移住・非正規労働者を語る

7月10日18時30分、京葉ユニオン講演会（船橋勤労センター）が、新型コロナウイルス感染が労働者に、



特に非正規労働者、移住労働者等に与える影響と実態について」をテーマに開かれた。講師は、移住労働者、非正規労働者の救済を手掛けてきた指宿昭一弁護士。

指宿さんは、労働事件で、必ずといってマスコミ報道でコメントを発している。コロナ禍では、会場の入場制限があり、困難もあったが、このときだからこそ学ぶことの意義もある。講演会は、共同代表の金澤壽さんの挨拶で始まった。「京葉ユニオンの結成もコロナ禍でギリギリでできた。今、活動再開もされたが、ご存知のようにまた、陽性者が増え出した、外国人、非正規労働者の雇用危機がある。京葉ユニオンは労働運動の再生の課題を持って全国に学習の意義を広める。皆さんも課題

を持つて学んでいただきたい」。早速、講演に入った。コロナなどの災害で、被害に真っ先にあうのが、外国人労働者、非正規労働者だと冒頭に指摘した。事例報告では、タクシードライバーの斉藤解雇事件報告がされた。一方で解雇通告をして、退職同意書を書かせるなどの矛盾したやり方を質した。休業補償について、60%補償や雇用調査助成金など、なかなか支給されない事例なども示された。コロナ禍で資本主義の矛盾が露呈し

している。経営が成り立たないことで簡単に労働者を犠牲にしていく。ユニオンの良いところは、「労組をあてにしない」「労組を知らない」「労組を味方と思わない」「労働者を組織ができる。それは移住労働者の特徴でもある。そんな「権利を伝え」ることから結びつき、知らない労働者と権利を学び繋がる。それが活動の第一歩と思う。頑張りましょう。90分の講演を終えた。

コロナを理由に最賃凍結は許さない 生きる権利は、最賃引き上げから

労働者が生活できる最低賃金の引き上げをする時期を迎えている。コミュニティユニオン全国ネットワークは、労働者の生活実態、経済情勢などを踏まえ、中央最低賃金審議会に、①全国どこでも時給

千円以上、②速やかに千五百円の実現を求める署名などの提出と交渉を進めてきた。

厚労省交渉で強調したのは、①地方最賃審議会を含めた最賃審議の公開を求め

る。②最賃レベルの低賃金で働く非正規労働者・移住労働者がコロナ禍で解雇、派遣切りにあい、雇用と住まいを失うなどの悲惨な実態を訴えた。

**健康で文化的な
最低限度の
生活**
憲法25条

中央・地方最賃審議会は

全ての審議を公開するとした。しかし、専門部会、小委員会まで波及しない恐れがあり、「これでは公開の意味はない」「公開は民主主義の基本だ」などと批判した。

労働者の格差是正に必要なのが最低賃金の引き上げである。ここ数年続いてきた3%水準の引き上げが、今年是不透明な情勢になっている。19年10月からの加重最賃平均は901円だが、最高の東京1013円と最低の鹿児島787円との差は、226円もあり、格差が縮まることはない。

資本は、コロナ禍を理由に、こぞって解雇、派遣切り、賃金カットなど、労働者を路頭に放り出す。20年の最低賃金についても、「3%引き上げは無理」「今年も据え置きもある」などの言及を続ける。

労働者は時給1000円以下では生活ができない。年収200万以下のワーキングプアでは、生命と権利の保障はされない。最賃引き上げで、労働者の団結を広めたい。